

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	約5年間（2016年4月19日～2021年4月13日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当 ファ ン ド	イ．フィンテック関連グローバル株式ファンド（適格機関投資家専用）（以下「グローバル株式ファンド」といいます。）の受益証券 ロ．ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド（以下「日本株マザーファンド」といいます。）の受益証券
	日 本 株 マ ザ ー フ フ ア ン ド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。以下同じ。）
当ファンドの 運 用 方 法	①主として、グローバル株式ファンドの受益証券および日本株マザーファンドの受益証券を通じて、世界のフィンテック関連企業（※）の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。 ※当ファンドにおいて、フィンテック関連企業とは、最先端の情報技術を用いて革新的な金融商品・サービスを提供している企業、提供する可能性がある企業、それらの企業を技術的、金銭的に支援する企業およびフィンテックを活用してビジネスを拡大する企業などをいいます。	
	②当ファンドは、グローバル株式ファンドに信託財産の純資産総額の80％程度、日本株マザーファンドに信託財産の純資産総額の20％程度を投資するファンド・オブ・ファンズです。 ③グローバル株式ファンドにおいて、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 ④上記①～③にかかわらず、基準価額(1万口当り。既払分配金を加算しません。以下④において同じ。)が一度でも15,000円を超えた場合、わが国の短期金融商品等による安定運用に順次切替えを行ない、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。ただし、基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。	
日本株マザー ファンドの 運 用 方 法	①主として、わが国の金融商品取引所上場株式の中から、フィンテック関連企業（※同上）の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。 ②株式への投資にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 イ．わが国の金融商品取引所上場株式のなかから、フィンテック関連銘柄を投資候補銘柄とします。 ロ．投資候補銘柄のなかから、フィンテック関連ビジネスの成長性、競争優位性および新規性ならびに経営陣の能力等を勘案し、組入候補銘柄を選定します。 ハ．組入候補銘柄のなかから、流動性等を考慮し、ポートフォリオを構築します。	
	③株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。 ④運用の効率化を図るため、わが国の株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。	
組 入 制 限	当 フ ア ン ド の 投 資 信 託 証 券 組 入 上 限 比 率	無制限
	日 本 株 マ ザ ー フ ア ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率	無制限
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ世界フィンテック
関連株ファンド
(限定追加型／早期償還条項付)

運用報告書（全体版）
第 1 期
(決算日 2016年10月13日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ世界フィンテック関連株ファンド（限定追加型／早期償還条項付）」は、このたび、第1期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		株式組入 率	株式先物 率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
1 期末(2016年10月13日)	円 9,932	円 0	% △0.7	9,899	% △1.0	% 18.5	% －	% 80.4	百万円 48,679

(注 1) MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC World 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

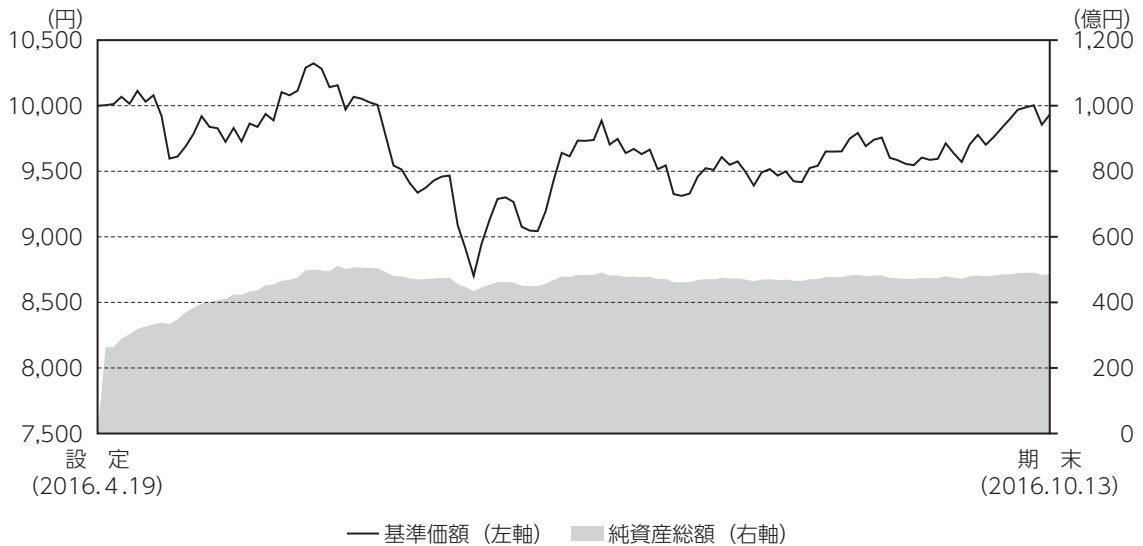
(注 2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
期 末： 9,932円
騰落率：△0.7%

■組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
フィンテック関連グローバル株式ファンド（適格機関投資家専用）	2.2%
ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド	△8.8%

■基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、主に保有する日本の中小型株や新興市場の値動きが軟調であったことなどがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ世界フィンテック関連株ファンド（限定追加型／早期償還条項付）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(設定) 2016年 4 月19日	円 10,000	% －	10,000	% －	% －	% －	% －
4 月末	9,922	△0.8	10,120	1.2	14.2	－	76.1
5 月末	10,323	3.2	10,182	1.8	18.5	0.5	77.5
6 月末	9,131	△8.7	9,271	△7.3	19.0	－	79.9
7 月末	9,665	△3.4	9,861	△1.4	17.7	－	81.3
8 月末	9,651	△3.5	9,878	△1.2	17.9	－	81.3
9 月末	9,702	△3.0	9,701	△3.0	18.9	－	80.1
(期末) 2016年10月13日	9,932	△0.7	9,899	△1.0	18.5	－	80.4

(注) 騰落率は設定比。

投資環境について

○グローバル株式市況

グローバル株式市況は、各国・地域の中央銀行による今後の金融政策への注目が集まる中、設定時から2016年6月中旬にかけてボックス圏での推移となりました。6月下旬に行なわれた英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱支持が多数だったことを受けて株式市況が下落する場面がありましたが、主要中央銀行が緩和的な金融政策で経済を支えるとの期待から、回復に転じました。また、英国で早々と新首相が任命され、政局の先行き不透明感が一部払しょくされたことも市場に安心感を与えました。その後、良好な米国経済指標、原油価格の回復、英国の大規模な金融緩和策の発表などを受けて、9月上旬にかけて上昇基調となりました。期末にかけては、モーゲージ担保証券の不正販売問題をめぐりドイツの大手銀行株が急落したことや市場予想を下回る中国の経済指標などが嫌気されて、上値の重い展開となりました。

○国内株式市況

国内株式市況は、設定時より、日米の金融政策や米国の為替政策への思惑から為替相場が不安定になったため、乱高下しました。2016年6月には、英国の国民投票でEU離脱支持が多数だったことを受けて株価は下落しましたが、7月以降は、国内の財政・金融政策への期待や円高傾向の一服などから上昇しました。8月半ば以降は、日米の金融政策や米国大統領選挙情勢へのさまざまな見方が交錯し、株価は一進一退で推移しました。

○為替相場

為替相場は、米ドル、ユーロともに対円で下落しました。一時的に対円で上昇する場面もありましたが、日銀がマイナス金利政策を維持する中、英国の国民投票をめぐる混乱から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、米国の早期追加利上げ観測が後退したことなどを受けて、米ドル、ユーロともに対円で下落しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

フィンテック関連グローバル株式ファンド（適格機関投資家専用）（以下、「グローバル株式ファンド」といいます。）を信託財産の純資産総額の80％程度、ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド（以下、「日本株マザーファンド」といいます。）を信託財産の純資産総額の20％程度組み入れました。

○グローバル株式ファンド

当ファンドは、最先端の情報技術を用いて革新的な金融商品・サービスを提供している企業、提供する可能性がある企業、それらの企業を技術的、金銭的に支援する企業に投資を行ないました。地域別ではフィンテック関連の先進的地域である米国を中心に投資を行なっています。企業規模の面では大型株を中心に、中小型株にも投資しています。期末の組入上位銘柄は、米国のアドビ・システムズ（情報技術）、アルファベット（情報技術）、アマゾン・ドット・コム（一般消費財・サービス）、中国の Tencent・ホールディングス（情報技術）、米国のテキサス・インスツルメンツ・インコーポレーテッド（情報技術）などでした。

当ファンドの運用の指図に関する権限については、ザ・ボストン・カンパニー・アセット・マネジメント・エル・エル・シーに委託して運用を行ないました。

○日本株マザーファンド

株式組入比率は、設定時を除き95％程度で推移させました。

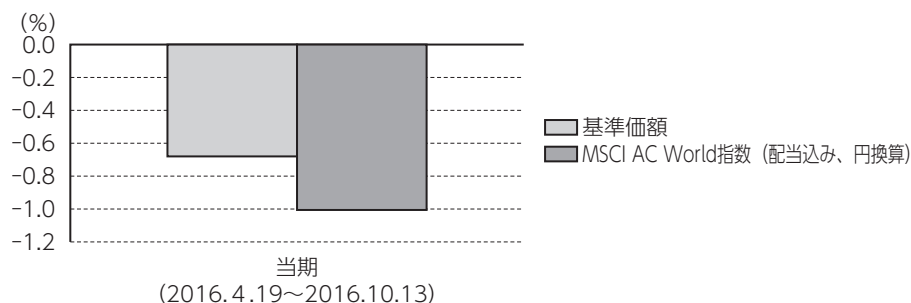
業種構成については、当ファンドの特色から情報・通信業、サービス業、証券、商品先物取引業などを中心とした構成としました。

個別銘柄では、仮想通貨関連としてセレス、フィンテック分野のクラウドサービス関連としてミロク情報サービス、電子決済・決済代行関連としてラクーンなどを買い付けました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当 期
		2016年4月19日 ～2016年10月13日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

グローバル株式ファンドおよび日本株マザーファンドの受益証券を通じて、世界のフィンテック関連企業の株式に投資します。

グローバル株式ファンドを信託財産の純資産総額の80％程度、日本株マザーファンドを信託財産の純資産総額の20％程度組み入れます。

○グローバル株式ファンド

当ファンドは、最先端の情報技術を用いて革新的な金融商品・サービスを提供している企業、提供する可能性がある企業、それらの企業を技術的、金銭的に支援する企業、フィンテックを活用してビジネスを拡大する企業に投資を行ないます。

フィンテック関連企業は、P E R（株価収益率）や長期的な予想E P S（1株当たり利益）成長率からみても相対的に高いプレミアム価格で取引されています。このトレンドは今後も継続し、フィンテック分野は世界的なマーケットにおいても他の分野を上回るパフォーマンスが期待できると考えています。

引き続き、高い成長が期待されるフィンテック関連企業に投資を行なうことで、信託財産の成長をめざして運用を行なってまいります。

当ファンドの運用の指図に関する権限については、ザ・ボストン・カンパニー・アセット・マネジメント・エル・エル・シーに委託して運用を行ないます。

○日本株マザーファンド

当ファンドは、世界的にフィンテックへの注目が高まる中、最先端の情報技術を用いて革新的な金融商品・サービスを提供している企業、提供する可能性のある企業、それらの企業を技術的、金銭的に支援する企業およびフィンテックを活用してビジネスを拡大する企業を中心に投資をしています。

引き続き、業績見通しなどに基づき、独自成長要因を有するフィンテック関連銘柄を中心に、収益性、革新性、成長性などの観点から、中長期的視点に立った運用を行なうことでパフォーマンスの向上をめざしてまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2016.4.19～2016.10.13)		
	金 額	比 率	
信託報酬	62円	0.637%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,665円です。
(投信会社)	(21)	(0.221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(38)	(0.395)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.041	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(4)	(0.041)	
(先物)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	66	0.680	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2016年4月19日から2016年10月13日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国	フィンテック関連グローバル株式ファンド（適格機関投資家専用）	39,849,528.753	39,724,000	1,546,170.996	1,490,000

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年4月19日から2016年10月13日まで)

		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド		10,253,499	10,173,000	－	－

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2016年4月19日から2016年10月13日まで)

項 目	当 期
ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	15,544,800千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,126,610千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.91

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年4月19日から2016年10月13日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	う ち 利 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 B	B ／ A	売付額等 C	う ち 利 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 D	D ／ C
株式	百万円 12,701	百万円 1,126	% 8.9	百万円 2,843	百万円 512	% 18.0
株式先物取引	334	－	－	336	－	－
コール・ローン	86,712	－	－	－	－	－

(注) 平均保有割合100.0%
 ※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビ－ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となつて発行される有価証券

(2016年4月19日から2016年10月13日まで)

種 類	当 期
	ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド
	買 付 額
株式	百万円 257

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) 単位未満は切捨て。

(4) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2016年4月19日から2016年10月13日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	18,462千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2,191千円
(B)／(A)	11.9%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、日の出証券、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
フィンテック関連グローバル株式ファンド（適格機関投資家専用）	38,303,357.757	39,130,710	80.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド	10,253,499	9,352,216

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年10月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	39,130,710	79.8
ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド	9,352,216	19.1
コール・ローン等、その他	538,222	1.1
投資信託財産総額	49,021,148	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年10月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	49,021,148,901円
コール・ローン等	538,222,160
投資信託受益証券(評価額)	39,130,710,284
ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド(評価額)	9,352,216,457
(B) 負債	341,299,072
未払解約金	53,043,130
未払信託報酬	287,202,979
その他未払費用	1,052,963
(C) 純資産総額(A－B)	48,679,849,829
元本	49,013,116,533
次期繰越損益金	△ 333,266,704
(D) 受益権総口数	49,013,116,533口
1万口当り基準価額(C／D)	9,932円

* 設定時における元本額は26,297,123,678円、当期中における追加設定元本額は24,099,942,567円、同解約元本額は1,383,949,712円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,932円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は333,266,704円です。

■損益の状況

当期 自2016年4月19日 至2016年10月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 239,184円
受取利息	5,413
支払利息	△ 244,597
(B) 有価証券売買損益	149,567,356
売買益	1,021,507,217
売買損	△ 871,939,861
(C) 信託報酬等	△ 288,265,939
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 138,937,767
(E) 追加信託差損益金	△ 194,328,937
(配当等相当額)	(△ 73,917)
(売買損益相当額)	(△ 194,255,020)
(F) 合計(D + E)	△ 333,266,704
次期繰越損益金(F)	△ 333,266,704
追加信託差損益金	△ 194,328,937
(配当等相当額)	(△ 73,917)
(売買損益相当額)	(△ 194,255,020)
繰越損益金	△ 138,937,767

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	49,013,116,533口

フィンテック関連グローバル株式ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンド（ダイワ世界フィンテック関連株ファンド（限定追加型／早期償還条項付））の主要投資対象である「フィンテック関連グローバル株式ファンド（適格機関投資家専用）」は、2016年10月13日現在、第1期決算を迎えておりません。

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ世界フィンテック関連株ファンド（限定追加型／早期償還条項付））が投資対象としている「ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド」の第1期決算日が到来しておりませんので、当ファンドの決算日（2016年10月13日）現在におけるダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンドの組入資産の内容等を11～12ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンドの主要な売買銘柄
株 式

(2016年4月19日から2016年10月13日まで)

買				付				売				付							
銘	柄	株 数	金 額	平 均 単 価	銘	柄	株 数	金 額	平 均 単 価	銘	柄	株 数	金 額	平 均 単 価	銘	柄	株 数	金 額	平 均 単 価
		千株	千円	円			千株	千円	円			千株	千円	円			千株	千円	円
セレス		252.5	459,332	1,819	デジタルガレージ		80	153,534	1,919										
ラクーン		572.9	320,149	558	ディー・エヌ・エー		40	138,688	3,467										
任天堂		12	297,454	24,787	オリックス		100	135,077	1,350										
ミロク情報サービス		202	260,002	1,287	アコム		280	129,392	462										
オリックス		160	256,343	1,602	アイスタイル		156	118,177	757										
インフォテリア		204	241,572	1,184	りそなホールディングス		270	117,576	435										
さくらインターネット		173	221,971	1,283	新生銀行		700	103,924	148										
ディー・エヌ・エー		100	220,849	2,208	D.A.コンソーシアムH L D G S		141.9	102,245	720										
メタップス		124.7	213,788	1,714	エニグモ		59.4	93,647	1,576										
アドウェイズ		235	208,535	887	N T Tデータ		18	93,291	5,182										

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年10月13日現在におけるダイワ・フィンテック関連日本株マザーファンド（10,253,499千口）の内容です。

国内株式
(上場株式)

銘	柄	2016年10月13日現在			銘	柄	2016年10月13日現在			銘	柄	2016年10月13日現在		
		株 数	評 価	額			株 数	評 価	額			株 数	評 価	額
		千株		千円			千株		千円			千株		千円
電気機器 (4.4%)					リアルワールド		31.8	59,370		データセクション		165.9	122,434	
J V Cケンウッド		510	132,600		オプティム		21.5	118,465		ショーケース・ディービー		124	173,972	
ネクスグループ		155	66,495		セレス		252.5	468,892		デジタル・インフォメーション		56.1	136,323	
ソニー		57	195,396		S H I F T		134.4	178,080		アイリッジ		35.7	133,339	
その他製品 (3.5%)					C R I ・ミドルウェア		45	177,075		マイネット		30	89,790	
任天堂		12	312,900		ベリサーブ		25	86,250		L I N E		47	227,010	
情報・通信業 (61.8%)					フライトホールディングス		323.4	182,074		パリュエデザイン		22.1	85,748	
エヌアイディ		28	83,916		テクマトリックス		40	88,240		シルバーエッグ・テクノロジ		26.8	101,840	
ピリリングシステム		20.8	81,952		GMOペイメントゲートウェイ		17	89,420		Eストアー		85.2	102,240	
T I S		48	129,744		さくらインターネット		173	177,844		ソースネクスト		208.2	105,557	
ネオス		155	79,205		いい生活		143.1	46,936		クレスコ		41.3	97,715	
GMOペパボ		15	52,875		フィスコ		400	114,400		電通国際情報S		15.1	27,995	
ブレインパッド		151.3	157,352		オウケイウェイヴ		75.9	30,891		インテリジェント ウェイブ		230	112,240	
エニグモ		80	157,280		リミックスポイント		333.2	53,978		日本ユニシス		85	102,765	
テクノスジャパン		56.4	120,470		コムチュア		32	120,800		GMOインターネット		102	132,396	
ロックオン		36.6	79,934		インフォテリア		204	176,664		S C S K		28	110,040	

銘柄		2016年10月13日現在	
		株数	評価額
		千株	千円
アイネス		97.1	113,704
T K C		31.3	92,460
ミロク情報サービス		202	392,284
卸売業 (3.3%)			
ラクーン		572.9	301,345
証券、商品先物取引業 (6.6%)			
ジャパンインベストメントA		50	167,000
GMOクリックH L D G S		85	62,900
S B I ホールディングス		135	160,110
カブドットコム証券		300	99,000
트레이ダーズH L D G S		650	106,600
その他金融業 (2.4%)			
クレディセゾン		30	51,510
アクリーティブ		210	77,700
オリックス		60	86,430
不動産業 (0.8%)			
L C ホールディングス		36.4	69,633
サービス業 (17.1%)			
オプトホールディング		175	126,875
ディー・エヌ・エー		60	200,700
アドウェイズ		130	74,100
ユナイテッド		90	142,650
ドリームインキュベータ		55	117,920
楽天		100	128,200
モーニングスター		125.6	36,298
アトラ		65.8	78,170
アライドアーキテクツ		27.1	78,915
リクルートホールディングス		45	188,550
メタップス		81.7	122,386
GMOメディア		21	65,730
ロゼッタ		66	144,276
セラク		9.4	37,177
合 計	株 数 、 金 額	千株	千円
	銘柄数<比率>	8,390.6	9,003,533
		72銘柄	<96.3%>

(上場予定株式)

銘柄		2016年10月13日現在	
		株数	評価額
		千株	千円
情報・通信業 (0.1%)			
ユーザベース		2.7	6,777
合 計	株 数 、 金 額	千株	千円
	銘柄数<比率>	2.7	6,777
		1銘柄	<0.1%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。